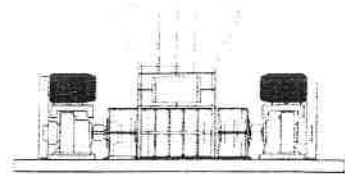


産業用二輪破砕機の決定版!!

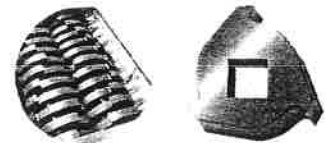
低価格でも
妥協しません!

従来メーカーの全ノウハウを結集!!

①モーターを左右両軸に取り付けることで、最大トルク出力を実現。軸それぞれの回転スピードを変えて、さらに噛み込みとパワーがUP!!



②S45C・クロム鋼・スウェーデン鋼などの超鋼刃を低価格で提供。目的に応じて自由にお選び下さい!!



③モーター及び減速機への過負荷時には保護機能が作動（業界初）！
重大な負荷トラブルを未然に防ぎます。

■駆動系概略図



■タイガーシュレッド主仕様

形式	モーター	馬力	破砕部寸法	本体寸法	機械重量
FP-0712-15D	15kw×2基 (30kw)	40馬力	700×1200mm	W4100×H2500×L1100mm	8.5t
FP-0912-22D	22kw×2基 (44kw)	60馬力	900×1200mm	W4300×H2700×L1300mm	9.0t
FP-0916-37D	37kw×2基 (75kw)	100馬力	900×1600mm	W4500×H2900×L1500mm	10.5t

特長

低価格

従来メーカーの1/2!

完全オーダーメイド

お客様の対象物・ご希望に合わせて自由に設計・製作!

ランニングコスト

刃の交換・研磨コストも従来メーカーの半分!

高い処理能力

大型廃家電も楽々処理のパワフル性能!

こんなケースにも最適です。

- 中間処理取得をお考えの方もご相談下さい。
- メンテナンスだけでもご相談下さい。全メーカー対応致します。
- 油圧モーター仕様も格安で製作致します。

【設計仕様書】

タイガー・シュレッド 二軸破碎機

◎型式 FP-0912-22D

◎仕様 ①破碎室寸法 長さ 1130mm 幅 884mm

 ②駆動方法 22KW-4P モーター 2台
 住友サイクロ 減速機 2台

主軸単独駆動

③回転数 A軸 5rpm
 B軸 4rpm

④破碎刃 材質 S50C
 刃径 450φ
 刃数 5
 12枚 × 2 = 24枚
 刃厚 50mm
 刃間 0.2mm～

⑤本体構造 SS400×33t及び25tによる溶接構造
 (ブロック組構造)

⑥重量 約7500kg (本体ベット 含)

◎操作盤仕様 ①屋外型 1000H×700W×250D
 ②メーターリレー方式 (インターバル制御)
 ③自動・手動切替

株式会社 プラントシステム

タイガー・シュレッド 二軸破碎機

騒音・震動 資料

本機は、回転刃がスパイラル並列にして、ハサミの原理で切り刻みます。

※ 本機は、高速衝撃により砕くことなく、従ってショックによる音、振動が少ないのが特徴です。

騒音

回転投入	2秒後	(破碎開始)
(1) 排出口		1m測定 75～80ホーン
(2) 排出口		1.0m測定 65～70ホーン
(3) 工場外		測定 55～60ホーン
(4) 工場外	ブロック塀 高さ 1m500	測定 50～55ホーン

上記測定数値は、破碎時高音を発生するアクリル系産物での測定数値です。

振動

回転投入後2秒より機械より3m回転側面の地面

(1) 硬質	タライの水	ビビリなし
(2) 軟質	タライの水	(ゆれ) 波なし

実測数値

(1) 硬質地面	機械より1m	測定	50デジベル
(2) 軟質地面	機械より1m	測定	75デジベル

【FP-0912-22D型 処理能力計算書】

1. ごみ質 廃プラスチック

2. 処理能力計算

2-①	仕様	破砕機形格	FP-0912-22D型
		破砕機形式	2軸せん断形
		カッターサイズ	Φ450×t50mm
		駆動方法	電動機×2台(各軸駆動)
		電動機出力	(1軸)…22KW 計 44KW
		実効回転数	4.5rpm A軸…5rpm B軸…4rpm

2-② 処理量 $Qh = 60\pi \cdot D \cdot Ne \cdot W \cdot H \cdot n \cdot k \cdot p$
(時間当たりの破砕量)

D	: カッター直径	0.45m
Ne	: 実効回転数 (A軸、B軸の回転数平均)	4.5rpm
W	: 破砕室長さ	1.2m
H	: カッター有効高さ	0.035m
n	: かみ込み容積効率	0.35
k	: かみ込み係数 (処理物の噛み込み易さ)	0.30
p	: 見掛比重	0.35

従って、時間当たりの破砕量は (Qh) は…。

$$Qh = 0.589 \text{ (ton/h)}$$
$$4.71 \text{ (ton/日)}$$

各処理物の見掛比重は、

平成18年12月27日付 環産産発第061227006号

「産業廃棄物管理票に関する報告書及び電子マニフェストの普及について」

(別添2) より引用

株式会社 プラントシステム